

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'13

平成25年9月28日発行
発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

特別号
その2



開場前



開場後

NHK「哲子の部屋」など巷で話題の哲学対話が「すぎなみ大人塾」として、セシオン杉並に凱旋したのは5月25日のこと。3か月間対話を積み重ねてきた受講生が、1か月に及ぶ準備を経て一般の方を相手にしかけたのが今回の「初秋のオープン哲学対話」である。ドキドキする受講生が迎えた当日。参加者は27名で受講生も含めると会場は熱気ムンムン。冷房も用をなせず、扇風機までもが動員される事態に。



9月7日 大人塾土曜コース
「初秋のオープン哲学対話」にて

哲学対話の効能

ウツン〜！こんなになん！？



※アピールタイムの様子

はじめになされたお題のアピールタイムでは、7つのお題の担当者それぞれが「なぜそのお題にしたのか」「何を話し合いたいのか」を力説。参加者も、自分が希望したお題とは別のお題の説明を聞くことで、その込められた思いを共有しているようだった。

自己紹介↓哲学対話突入！

それぞれのグループは視聴覚室と和室に分かれ、まずは自己紹介開始。なにせ当日初めて顔を合わせた方も多数という状況である。参加者の方々の中には緊張した方もいたようだ。



※イメージ図です

★お題一覧★

- ① 人生の価値・意味とは何か？
- ② 人はどこまで助け合うべきか？
- ③ 日本の若者は幸せなのか？
- ④ 車の来ない赤信号 渡る？渡らない？
- ⑤ ご近所づきあいは必要か？
- ⑥ 大人って何？
- ⑦ 本当に客観的に見るにはどうする？

▼気になる哲学対話の効能は裏面へ▲

どれだけ自己を開示するか…、そんな参加者の緊張感（コリ）をほぐす場面について受講生U氏（杉並区在住）はこうふりかえる。「最初、話し合おうとしたとき暗い表情の方がいらつしやったんですが、受講生のYさんが、ご自身のお話を交えながら自己紹介をしてくださったんです。次の順番がその方だったんですが、『Yさんがあのように自己紹介をしてくださったので話しやすくなりました。』とおっしゃってください、さらにその言葉で話が深められて…」自己開示をすることで話し手の経験や背景を知り、そのことが対話にさらなる深みをもたらす。自己開示の大切さを示すひとコマであった。



※和室での話し合い ただみに赤の敷物が映えます

折

1：この講座を知ったきっかけは？

- 1位 区報（13）
- 2位 ポスター・チラシ（3）
- 2位 知人からの紹介（3）
- 3位 HP（2）

2：参加されたきっかけは？

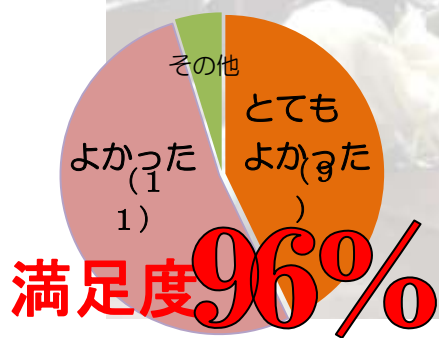
- 1位 哲学対話に興味があった（13）
- 2位 話したい「お題」があった（5）

学

Q：対話の「お題」はどうでしたか？



Q：進め方はどうでしたか？



(回答数：21)

アンケートから 明らかになる 驚きの効果

さまざまな年代の方が集まった今回の哲学対話。参加者の方々には多くの効能があったようだ。「新たに気付いた！」「おどろいた！」「予想を超えた！」「有意義だった！」などの声でアンケートは埋め尽くされている。これからの時代で哲学対話の手法が必要とされる機会は多くなるのでは？ということが期待されるアンケート結果となった。（瀬山）

ファシリテーターのご尽力により、有意義な時間でした。

色々な方の考えが聞けて面白かった。初めに進め方、時間配分を話して始めるのが良いかも。

赤信号のことでここまで対話できるとは思ってもいなかったの、いい意味で予想を超えるイベントでした。

自分では赤信号を渡る派とってたが状況により渡っていない方が多く、自分でも驚嘆です。

もっともっと勉強したくなった。

あまりシート類にとらわれず、ファシリテーターが問題提起者になり、それについて議論を深めていってはどうでしょうか。

他世代、異業種、など様々な経験をお持ちの方と対話でき、有意義な時間でした。

人の話を真剣に聞く事ができました。普段はなかなかできてない自分に気付きました。

自分の心の整理もでき、テーマに対する新しい発見があり勉強になりました。すべてのテーマに参加してみたかった。

お元気な方がいてビックリしました。いくつになっても興味心を持ってみたいです。

自分の抱えている問題に参考になる意見を多く聞けた。

非常に意義のある内容で良かった。感謝。

若い人の意見がとても良かったです。年齢者も頑張っています。みんなステキです！

私たちの社会に欠けるものは何か？それは語り合うことであると思います。対話は確かに聴く事、そして、本音を的確な言葉で表現すること。そしてお互いに理解を深めることであります。

対

話

※あくまでも個人の感想です。効能には個人差があります。